

情報処理科 2年A組

教科	商業	科目(単位)	財務会計Ⅰ(4単位)
使用教科書	新財務会計Ⅰ 新訂版(実教出版)		
授業形態	通常授業・分割授業・T T		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T(チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・会計の諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、会計に対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けます。
- ・会計の諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けさせます。

3 学習の方法

- ・「財務会計Ⅰ」では「簿記」と同様に、赤ボールペンや電卓などを利用します。また「財務会計」では「簿記」以上に会計規則について学習することが重要です。教科書巻末の企業会計原則、商法、商法施行規則、金融商品会計基準などの資料を活用するようにしましょう。
- ・「財務会計Ⅰ」そのものはきわめて奥の深い科目です。書店などで、会計学・財務諸表論といった科目の入門書などを自分で購入して学習能力をアップさせましょう。また、授業の復習を必ず行い、各資格試験に挑戦し、合格しましょう。

4 課題・補習について

- ・項目ごとに随時小テストを行います。
- ・点数が低い者は補習を行います。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・全商簿記実務検定 1級会計・2級
- ・全商珠算・電卓検定 1級 普通計算(電卓)

情報処理科 2年A組

教 科	商 業	科目(単位)	財務会計 I (2単位)
-----	-----	--------	--------------

6 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1編 企業と会計 企業と会計 企業会計制度と会計法規	・企業会計を通して財務会計の基礎的な内容について理解する。	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト 単元テスト  <b>前期中間考査</b>  行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト  <b>前期末考査</b>
5	第2編 貸借対照表 貸借対照表のあらまし 資産の意味・分類・評価 流動資産 固定資産	・貸借対照表の項目のうち、まず借方の「資産」について、意味・分類・評価方法、さらに資産の種類別の会計処理法などを理解する。	
6	負債の意味と分類 流動負債  固定負債 純資産の意味と分類	・貸方の「負債」と「純資産」について、それぞれ意味・分類・会計処理などを理解する。	
7	資本金 資本剰余金 利益剰余金 自己株式 貸借対照表の作成		
9	第3編 損益計算書 損益計算書のあらまし 損益計算の意味と基準 売上高 売上原価、販売費および一般管理費	・損益計算書の基準、損益計算書を構成する売上高、売上原価、販売費および一般管理費について理解する。	
10	検定試験 問題演習	・全商珠算・電卓検定1級(普通計算・電卓)受験対策として、過去問題を中心に演習する。  <b>全商珠算・電卓検定 1級 普通計算(電卓)</b>	
11	営業外収益・営業外費用 特別利益・特別損失 損益計算書の作成 その他の財務諸表	・損益計算書の基準、損益計算書を構成する営業外収益、営業外費用、特別利益、特別損失の各区分、損益計算書の作成方法などについて理解する。	
12	第4編 財務諸表の活用 財務諸表のディスクロージャー 財務諸表分析 連結財務諸表のあらまし 連結財務諸表の作成	・企業の経営成績や財政状態の良否を判断し、その良否の原因を明らかにするために、財務諸表の数値を利用して、分析や比較の理解をする。	
1	検定試験問題演習	・全商簿記実務検定1級(会計)受験対策として、過去問題を中心に演習する。	
2 3	総復習	<b>全商簿記実務検定1級会計・2級</b>	<b>学年末考査</b>